

これまでの「新しいふるさとづくり」をさらに進めて、
 県民の一人ひとりが真に心ふれあう快適な地域づくりを
 進めるため住民主体の「まち・むら」づくりや地域福祉
 活動を促進するとともに、熊本県の誇りとする緑と水と
 いった自然の恵みを守り次の世代へひきつぐ必要があり
 ます。また、都市と農山漁村の調和ある整備をはかり、
 県全体の均衡ある発展を実現することも県政の重要な課
 題です。そのためには、市町村とのつながりを密にし、
 県・市町村が一体となった取組みが今後ますます重要に
 なってくると思われまます。

このほか、県民の日常生活の安全性を確保し、風水害
 や火災、公害、交通事故や犯罪などを防ぐことも基本的
 な課題です。

地域づくりのための これからの課題

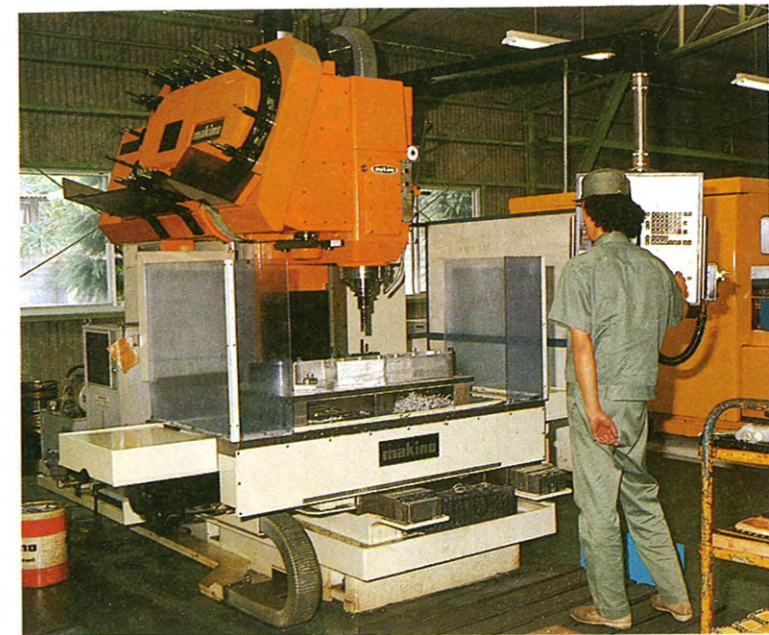
今後の主要な施策

- 熊本県総合福祉センターの建設
- 河川改修、治水ダム（立野ダムなど）の建設
- 街路整備事業、土地区画整理事業、都市公園整備事業
- 下水道事業（熊本北部流域下水道事業など）
- 住宅建設事業（熊本県第4期住宅建設五箇年計画の促進）
- 牧島架橋（御所浦町）等の離島対策の推進
- 水俣病被害者救済対策の推進
- 水俣湾堆積汚泥処理事業の推進



県木 楠

豊かな生活を支える 産業の振興



県民が安定した豊かな生活を築くためには、就業機会の増大と所得の
 向上をはかる必要がありますが、この基盤となるものは、産業であり、熊
 本県の特徴をいかした産業の振興は、今後とも県政の最大の課題です。